

将来の苗穂を、
描く取組をはじめましょう！！

発行者：札幌市地域計画課
発行日：令和元年5月



苗穂地区景観まちづくりフォーラムを開催しました

平成31年3月15日、苗穂会館にて、今まで苗穂地区で行われてきた「景観まちづくり」の取組を振り返り、地域住民のみなさまと「絵になるまち苗穂」の実現に向けて今後の取組について語り合いました。

苗穂の景観まちづくり

苗穂では地域住民が協力し、まちに設置するベンチのデザインを考えたり、美化清掃活動などのまちづくり活動を行ってきました。

まちの現状と苗穂らしさ

日頃からまちづくりに参加している地域住民、有識者の方々に登壇して頂き、苗穂の現状や変化、苗穂らしさについてお話を伺いました。



八田 力氏（苗穂駅周辺まちづくり協議会 会長）

かつての交流の場であった個人商店が減り、住民同士の交流の機会が減少しています。近年、若い住民が増えてきているので、大人から子供までがまちに関われる体制づくりが必要だと思えます。

小飼 英祐氏（株式会社カネキ小飼商店）

昔ながらの飲食店等が減りつつあり、寂しさを感じています。長い間引き継がれてきた苗穂の伝統や良さを残しながら、若い方々がまちの取組に参加しやすい環境が出来上がると活気が生まれると思えます。



小篠 隆生氏（北海道大学大学院工学研究院 准教授）

苗穂駅の新駅舎が開業し、今まで見る事が少なかった人の流れや日常が生まれたと思えます。細い道路と小さな商店、そこに生まれる人と人との交流が苗穂のまちの特徴だと思えます。



山重 明氏（苗穂駅周辺まちづくり協議会 アドバイザー）

まちの個性を残しながら、新しいものを受け入れることが重要です。また、住民の皆様たちによって行われてきた取組自体が苗穂の文化や歴史になっており、次世代に引き継ぐことが大切だと思えます。



苗穂の景観まちづくりで大切なこととは？

約 40 名の参加者の皆様から「苗穂らしい景観を生むために、皆様が重視したいこと」をテーマにご意見を頂きました。



皆様が大切にしたいこと

下町感 ・都心に近い田舎っぽさ
・ゆっくり時間が経過して落ち着く下町感 etc...

繋がり ・住民のあたたかさ
・ゆっくり時間が経過して落ち着く雰囲気 etc...

歴史 ・古い建物を残す
・鉄道、自衛隊などの歴史を活かす etc...

新駅舎 ・自由通路から列車が見える風景を活かす etc...

賑わい ・商店などが開業する
・交流施設の充実する etc...

これからの景観まちづくりに向けて

参加者の皆様からの意見を受け、登壇された 4 名から苗穂地区における今後の景観まちづくりで重要だと考えていることを伺いました。



景観まちづくりのキーワード

空間・広場の活用
…空間・広場を活用しましょう！

積極的に新たな取組を実施
…まずはやってみることが大切です！

子供がまちに興味を持つ
…子供が楽しめるまちづくりにしましょう！

住民の暮らしぶりが絵になるまち
…絵になるまちの主人公は住民です！

まちづくりを通して健康に
…交流・活動は健康に繋がります！

住んで良し、訪れて良し
…まちの資源を活かそう！

今年度以降も
景観まちづくりの
取組を行います！

今後の取組

今回のご意見を基に、今年度以降の景観まちづくりに関する取組をおこなっていく予定です！

是非ご参加ください！

問い合わせ先

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

電話：011-211-2545 / FAX：011-218-5113（担当：岡本、菅原）

Web：<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/machizukuri/katudou/naebo.html>

